火起こし（ファイアースターター）

場所	野外炊飯場		
時間	30 分～		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	何人でも

準備物

【利 用 者】軍手、新聞紙、救急用品、
季節に適した服装
別紙「野外炊飯（準備・片付け）」参照

【自然の家】材料（ファイアースターター、麻ひも）
※最大貸し出し 15 セット

プログラムの概要・ねらい

“火打ち石”の現代版、ファイアースターターを使用して火を起こす。火花から火種を作り、大きな火へ移すことで、火の特性に気づくことができる。

①準備

サービスセンター受付で、ファイアースターター、麻ひもを受け取る。
薪※を受け取る。※実施途中で薪が足りなくなる場合は、スタッフへ連絡する
火付けの準備をしておく。（※別紙「火付け」参照）

②実施の流れ

【時間】

0:00　プログラムシートで、やり方や留意事項の確認をする。
麻ひもをほどいて着火底の準備をする。

①麻ひもをねじるようにし、ほどく。（写真①）

②ほどいた麻ひもをかまどの中に丸めて置く。
※できるだけ多い方がよい。

0:10　【火の着け方の流れ】
①麻ひもの上でブレードをロッドに当ててスライドさせて削る。
（ロッドからマグネシウムの粉が落ちる）（写真②）

②ブレードを強く速くスライドさせて火花を飛ばし、マグネシウムの粉末に当て着火する。（写真③）

③麻ひもはすぐに燃えてしまうので、新聞紙や細かくした薪に火を移す。
起きた火で、野外炊飯などをする。（写真④）

＜プログラム時間の目安＞
火おこし＋野外炊飯　　＝0.5時間＋3.5時間＝4.0時間
火おこし＋スモアーズ　＝0.5時間＋1.0時間＝1.5時間
火おこし＋焼き板　　＝0.5時間＋2.0時間＝2.5時間
火おこし＋ぐるぐる棒巻きパン＝0.5時間＋1.5時間＝2.0時間

0:25　片付け
・使った用具をきれいにする。

0:30　終了

①

②

③

④

③後片付け

別紙「野外炊飯（準備・片付け）」を参照し、後片付けをしてスタッフの確認を受ける。薪の束数を申告する。
ファイアースターターと余った麻ヒモをサービスセンター受付へ返却する。
★かまどに水を掛けて掃除するとレンガが割れてしまうので、絶対に行わない。

2025/03/01 改訂